

2015 年度 学校関係者評価
報告書

学校法人 滋慶学園
札幌ベルエポック美容専門学校

作成日：平成 27 年 6 月 3 日

学校法人 滋慶学園 札幌ベルエポック美容専門学校

第 3 回 学校関係者評価委員会議事録

議事録：村上

1. 開催日時 平成 27 年 6 月 3 日(水) 14:00~15:00

2. 開催場所 札幌ベルエポック美容専門学校 604 教室

3. 参加者 以下参照

<学校関係者評価委員>

岩川 祥哉	業界関係者（札幌美容協同組合 理事長）
打矢 憲弘	業界関係者（有限会社うちや美容室 代表取締役社長）
穂苅 修一	業界関係者（株式会社美美 営業部長）
井森 千晴	卒業生代表
松川 弘恵	保護者代表
鈴木 康弘	高校関係者（北海道芸術高等学校 事務局長）
西川 知子	近隣関係者（東北第 2 町内会 会長）

<学校側参加者>

藤井 英嘉	札幌ベルエポック美容専門学校 学校長
古島 暉大	札幌ベルエポック美容専門学校 事務局長
母坪 研巳	札幌ベルエポック美容専門学校 教務部長
奈良 理映	札幌ベルエポック美容専門学校 美容師科 学科長
日野 忠大	札幌ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター長
村上 真子	札幌ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター

4. 会議の概要

① 学校長挨拶

現在国全体の取り組みとして、早期から職業に結びつく内容の学習が行われている。そうした意味で、専門学校の持つ役割は大きい。一昨年から文部科学省が打ち出した職業実践専門課程の内容は、職業教育に力を入れる学校を認定するものである。業界等外部の方々の意見を取り入れ、学校教育をより良くしていくために多くの意見をいただきたい。本校は国の規定に基づいて行われる学校関係者評価を行っており、その内容をごらん頂き、それを元に適切な評価をしていただきたい。

②職業実践専門課程について

職業教育に力を入れている昨今において、高等教育機関への期待は高まっている。その中で『職業実践専門課程』の認定が始まった。3つの柱となるのは①教育力向上②情報公開③産学連携である。企業・地域・保護者・卒業生と連携した学校評価を行い、毎年情報を公開していく必要がある。

③各委員ご紹介

母坪より各委員の紹介があった。

④平成 26 年度自己評価報告

母坪より平成 26 年度自己評価報告について内容報告があった。

本校は“職業人教育を通じて社会に貢献する”ことを前提に、実学教育・人間教育・国際教育の3つの柱と、入学生全員が高い専門性と資格を取得し末永く業界で活躍する人材を輩出することを目的としている。

目的達成のため「退学者 0 名」「就職 100%」「資格取得 100%」「就職先 1 年以内離職 0 名」を目標として掲げている。

『教育内容の特徴』

3つの特徴を持った教育内容と、4つの学生サポートシステムを充実させた。

- ・現場力教育、学生サロン等

『学校運営』

意思決定システムとして「戦略決定の場」「問題解決の場」「学習の場」があり、この中で教職員の教育力を高め、学校運営を行っている。

『教育活動』

職業人教育＝専門職業教育＋キャリア教育として捉え、養成目的に向かい、入学前教育→在学中教育→卒業後教育とフローで活動してきた。

『教育成果』

1. 中途退学者及び年度別退学者の人数報告があった。
2. 美容師国家資格取得実績について、通信課程含めた取得率報告があった。
3. 就職者数及び年度別離職調査結果について人数報告があった。

『学生支援』

学生一人ひとりに対し、様々なサポート内容について説明があった。

『教育環境』

国際教育の一環とした、外国人講師の紹介や海外研修報告があった。

『財務』

公認会計士と監事による監査を受けているとの報告があった。

『法令等の遵守』

国際規格「TRUSTe」認定校、法令遵守及び自己点検・自己評価実施報告があった。

『社会貢献』

学生サロンを通じた、教育施設の有効活用について報告があった

⑤平成 25 年度重点課題の結果報告として、

1. 収支比率の適正化についての報告があった。
2. 就職者率の向上と離職者率の低減に向けた取り組みについて報告があった。

⑥平成 26 年度重点課題として、次の 2 点を挙げた。

1. 教育のイノベーションについて説明があった。現場体験実習を中核として「学校を辞めない」「仕事を辞めない」を目標にするキャリアデザインプログラムを構築して辞めない学校を目指す。
2. 組織のイノベーションについて説明があった。教職員自身が愛校心を持ち、教育に望む。

⑦評価委員からの評価

・離職率について。同じ教育機関として、辞めないために取り組んでいることについて教えて欲しい。

(回答) ⇒就職した学生にアンケートを取った所、辞める理由として「職場の人間関係」という事が上がり、人間関係について悩む学生が増えていると感じる。美容・調理系の学生は離職率が高い。取り組みを始めたばかりである。

・ベルに入学する学生はプロの美容師になろうと思って入学してきているのか？

⇒多くは、美容は好きであるがプロとしての意識が高い状態で入ってきているとはいえない。2 年間でプロ意識を持った状態になるように教育をしている。

⇒卒業式前日に卒業学生にアンケートを取った所、70~80%の学生が学校を辞めたいと思ったことがあると回答している。学生は学生生活の中で、いろいろな応援があり、乗り越えて卒業をしている。

・サロン側として新入職者に感じることは、学生時代に「教えられ慣れている」という事。なぜ教えてくれないのかという感覚になっている。その切り替えをしていく事が必要になっている。

⇒近年の学生へのサポートをどこまでするのか、というところが課題となっている。

・離職の理由として上がっていた「人間関係」という事が、実体験として理解できた。自分が学生の際に、担任の職員から現場の状況について詳細に聞いていたため、ある程度の覚悟が出来ていた。そうした話を聞くことが就職してからの心構えになり、良かったと感じている。

⑧評価表への記入について

学校関係者評価について詳細を記載した評価シートを委員にお渡しした。時間をかけてご記入頂いた後提出していただく。

以上